

授業科目名	特修Ⅱ（子ども心理演習）	担当教員名	西林 幸三郎
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	大学が独自に設定する科目・保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	選択 / 4単位（60時間）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 通年（1-4期） / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 グループ学習の要素、現場での実習含むキャリア教育の要素、その他能動的要素を加えた授業
授業の概要及び全体目標	<p>・乳幼児の発達の道筋を理解し、心理学の発達理論や学習理論や学習理論をベースとして、保育者としての適切な援助方法はどうかについて具体的に考えていながら子どもの情緒発達、親子関係や保育者との関係、保育現場の集団行動、子どもの行動の持つ意味とその背景についての理解を深めるとともに、支援の方法について園における実践事例の検討を通してその実際を学ぶ。</p> <p>・子ども自身が自分の気持ちや命、権利を大事にできるように育つために、子どもの権利条約に示されているような事柄において子どもの力を育てるための適切な方法（幼児が理解しやすい示し方）を保育者が考え、実践する力を養う。ワークショップや実習で体験的に学ぶ中で子どもの立場に立った視点から自分の中に確立して行くことを実感し、子どもの心に寄り添いつつ適切に導き、支援する力を付けていく。</p>		
到達目標	<p>(1)発達を深く理解し、子どもの心理発達を保育実践の観点から考えることができるようになる。</p> <p>①乳幼児の発達について深く理解する。</p> <p>②発達のアセスメントの基礎となる臨床心理学の理論と方法について概略を理解する。</p> <p>③発達のアセスメントに基づいた支援について、主体的に考えて実践することができる。</p> <p>④言語療法、運動療法、絵画製作や音楽等の表現を通じた療法について基礎知識を得る。感覚運動を通して子どもたちの身体と感覚、心のバランスを取り戻す遊びを保育の中でどのように実践してゆけるかを中心に感覚統合の基礎を理解する。</p> <p>(2)子どもの言動に影響を与えることについての知識を深め、適切な対応を心がけることができる。</p> <p>①子どもの言動に影響を与える様々な環境について知識を深める。</p> <p>②子どもの行動や態度の背景にある様々な気持ちの機微を理解する。</p> <p>③</p>		
テキスト	適宜プリント資料を配布		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）、「子どもの権利カードブック」（ユニセフ）、「保育所保育指針 解説」「子ども虐待対応の手引き」（子ども家庭庁） プレゼンテーション資料として映写、また適宜プリントを配布。		
成績評価の方法	○授業等平常の評価：45% ○反省含む実習についての評価：40% ○理解度・到達度チェック（筆記形式）15%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	・オリエンテーション –授業の概要と目標、進め方についての説明– ・子どもの発達（心理系）についての総論	(1)-①	
第2回	・子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際① 乳児期の情緒的発達	(1)-①,②	
第3回	・子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際② 乳児期の（3歳クラス）の子どもの情緒的発達（グループディスカッション含む）	(1)-①,②	
第4回	・子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際③ 乳児期の（4歳クラス）の子どもの情緒的発達（グループディスカッション含む）	(1)-①,②	
第5回	・子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際④ 乳児期の（5歳クラス）の子どもの情緒的発達（グループディスカッション含む）	(1)-①,②	
第6回	・子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際⑤ 児童期以降の情緒的発達	(1)-①,②	
第7回	・発達アセスメントの基礎となる臨床心理学の理論と方法（総論）	(1)-①,②,③	
第8回	・発達アセスメントの基礎となる臨床心理学の理論と方法（幼児対象の検査）	(1)-①,②,③,④	
第9回	・発達の遅れや発達障害等でサポートが必要な子どもたちのための様々な療育方法－言葉－（グループワーク含む）	(1)-①,③,④	
第10回	・発達の遅れや発達障害等でサポートが必要な子どもたちのための様々な療育方法－コミュニケーション－（グループワーク含む）	(1)-①,③,④	
第11回	・発達の遅れや発達障害等でサポートが必要な子どもたちのための様々な療育方法－運動－（グループワーク含む）	(1)-①,③,④	
第12回	・発達の遅れや発達障害等でサポートが必要な子どもたちのための様々な療育方法（模擬保育、解説）	(1)-③,④	
第13回	・インクルーシブ保育 特別支援・障害児保育 – 保育施設の実例検討 –（パネルディスカッション）	(1)-①,③	
第14回	・インクルーシブ教育 特別支援 – 小学校の実例 –（解説）	(1)-①,③	
第15回	前期のまとめ 発達のアセスメントと支援	(1)-①,②,③,④	
第16回	子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際 ～実際①～ 行動観察 – 園生活での様子（自由遊び） – から（実習）	(1)-① (2)-①	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第17回	子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際 ～実際②～ 園生活での様子（自由遊び）から（実習、グループワーク、解説）	(1)-① (2)-①,②
第18回	子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際 ～実際③～ 行動観察-園生活での様子（設定保育、園での基本的な生活習慣）-から（実習）	(1)-① (2)-②
第19回	子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際 ～実際④～ 行動観察-園生活での様子（設定保育、園での基本的な生活習慣）から（実習、グループワーク、解説）	(1)-① (2)-①,②
第20回	子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際 ～実際⑤～ 園生活での様子（延長保育、子ども同士の人間関係）-から（実習）	(1)-① (2)-②
第21回	子どもの臨床心理学的理解のための理論と実際 ～実際⑥～ 園生活での様子（延長保育、子ども同士の人間関係）から（実習、グループワーク、解説）	(1)-① (2)-①,②
第22回	・子ども緒の行動や態度を背景から考える① 日常の課程、保育施設等の環境が子どもに与える影響	(1)-① (2)-①,②
第23回	・子ども緒の行動や態度を背景から考える② 子どものストレスケア -日常- （グループワーク、解説）	(2)-①,②,⑤
第24回	・子ども緒の行動や態度を背景から考える③ 「気になる子ども」の対応と保護者支援	(1)-① (2)-①,②
第25回	・子ども緒の行動や態度を背景から考える④ 文科社会、災害等の環境が子どもの育ちに与える影響	(1)-① (2)-①,②
第26回	・子ども緒の行動や態度を背景から考える⑤ 子どものストレスケア-災害時・災害後-（グループワーク、解説）	(2)-①,②,⑤
第27回	・子どもの人権① 子どもの権利条約 -子ども自身が自分の気持ちや命、権利を大事にできるように育つために-（発表、ディスカッション含む）	(2)-③
第28回	・子どもの人権② -児童虐待とは- -家庭での虐待防止・早期発見・早期対応のために-	(1)-① (2)-①,②,④
第29回	・子どもの人権③ -「不適切保育」とは- -不適切保育防止のために-	(1)-① (2)-①,②,④
第30回	・後期のまとめ、「子ども心理演習」総括 -子どもの心に寄り添いつつ適切に導き、支援するために-	(1)-①,②,③,④ (2)-①,②,③,④,⑤